

緩和ケアの ちょっと タメになる話

Vol.21

第 21 回のテーマはこちら

薬がいつから効くか、いつまで効くか意識してますか？

～薬を調べるときのポイント～

初めての薬と出会ったとき、ほとんどの人が「何の薬だろう？」と調べることと思います。その時に薬の“何を”調べているでしょうか？

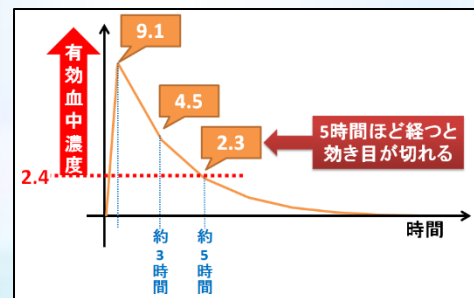
おそらく「**薬の作用・副作用**」を調べる人が多いかと思います。もちろん大切なことです。では、その作用がいつのタイミングで発現し、どれくらいまで効果が続くのかを合わせて確認する人はどのくらいいるのでしょうか？そこまで意識してなかったという人はぜひ一度確認してみてください。**薬の使い方**や**評価の仕方**が段違いにうまくなると思います。

「**薬がいつから効くか、いつまで効くか**」というのは薬剤添付文書に記載されている「**Tmax(最高血中濃度到達時間)**」と「**T1/2(血中濃度半減期)**」を見ればおおよそわかります。

例えば、疼痛時によく使用するアセトアミノフェンは以下になります。

効果発現時間	15－30 分
Tmax(最高血中濃度到達時間)	30－60 分
T1/2 (血中濃度半減期)	2－4 時間
作用時間	4－6 時間

(緩和ケアエッセンシャルドラッグ)



(<https://www.fizz-di.jp/archives/1062385920.html>)

効果発現時間と Tmax に差があるのは Tmax に到達しなくてもある一定の濃度を越えれば効果を発揮するからです。また、半減期を過ぎても一定の血中濃度以上を保っているうちは効果が持続します。

カロナールのように内服してわりと早い時間に発現する薬は意識せずとも評価しやすいですが便秘時に使う「**ラキソベロン**」の**効果発現時間は 8-12 時間**とされています。

つまりラキソベロンを飲んだからと言ってすぐに排便はありません。

ラキソベロンを就寝前に飲む理由は起床後に排便できるように効果発現時間を調整してということです。

このような薬剤ごとの違いをしっかりと意識することは**薬剤の適切な評価**につながります。

また、**患者・家族への説明**も具体的にできるようになるのでぜひ意識してみてください。

あひるのマーチ